

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

第13回 定時会員総会開催について

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

会 長 藤 田 秀 樹



表記総会を定款第4章第16条にもとづき、下記のとおり開催いたします。
万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようご案内いたします。

記

日 時：令和7年5月25日(日) 15時開会 17時閉会
会 場：大阪府診療放射線技師会事務所
〒543-0018 大阪市天王寺区空清町8番33号
大阪府医師協同組合 東館5階
参加方法：Web参加のみ

総 会 次 第

- 開会の辞
- 会長挨拶
- 名誉会員紹介
- 議 事
 - 1. 資格審査委員及び総会運営委員選任
 - 2. 議長選出
 - 3. 書記の選任
 - 4. 議 事
 - (1) 令和6年度庶務報告・事業報告
 - (2) 令和6年度決算報告
 - (3) 令和6年度監査報告
 - (4) 令和7年度事業計画
 - (5) 令和7年度予算
 - (6) そ の 他
- 閉会の辞

Web 出席される方および代理人に委任される場合は、電磁的方法にて回答してください。
はがきと電磁的方法の両方で回答された場合は、電磁的方法を優先します。

電磁的方法：以下の URL または QR コードから、ご回答ください。

Web 回答 URL：https://qr.paps.jp/gRoG

QRコード



Web 出席の注意事項

1. 出欠等回答フォームから「Web 出席」の登録されたご本人のみ参加可能です。
2. 音声（マイク、オーディオ）は OFF にしておいてください。
発言時は挙手の上、議長の許可を受けた後、音声を ON にして、所属ブロックと氏名を述べてから発言してください。
3. ビデオ（映像）は、総会開始後必ず ON にしてください。
ON にできない場合は、Zoom の表示名（名前）を「氏名（所属ブロック）」に変更してください。
出席者を確認できない場合は、出席とみなされません。

定款第 4 章（会員総会）

（決議）第20条「会員総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う」（書面議決権の行使）第21条「やむを得ない理由のため、会員総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって議決し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる」第21条第2項「前項の場合における前条の規程の適用については、その正会員は、会員総会に出席したものとみなす」

以上により、欠席される場合は「書面表決」または「委任状」を総会資料巻頭に綴じ込みしている「第13回定時会員総会欠席・書面表決回答書」または「電磁的方法」にて提出してください。

第1号議案

令和6年度 事業報告

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

会 長 藤 田 秀 樹

1. 総 括

令和6年度は、事業計画通り、ほぼすべての目標を達成できたと考えております。昨年、定款を一部改正し、65歳以上の会員および大学院生の年会費を半額に改定いたしました。また、マンモグラフィ技術講習会をはじめ、会員の皆様に有益なセミナーを企画・開催することができました。組織部主催の学術事業や福利厚生事業も順調に実施され、多くの会員の皆様にご参加いただきました。5年間の目標として掲げた会員数の増加も、少しずつですが成果が見え始めており、近畿地域2府4県の技師会の中でトップとなりました。今後も会員のメリットを発信し、皆様のご意見を真摯に受け止めながら、より良い会の運営を目指していきたいと考えております。引き続きご期待ください。

令和6年度で最もうれしかったことは、新年互礼会を開催できたことです。ようやくコロナ前の状態に戻れたと感じております。コロナの影響と雨天により開催できなかった近畿地域の野球大会も、6年ぶりに開催することができ、大放技が3連覇を果たしたことも大変嬉しい出来事でした。令和7年度は大阪府が主催となりますので、ぜひ4連覇を目指したいと思っております。

学術事業においては、平日の夕方開催分はWebのみ、土曜日開催分は会場のみと、それぞれの特徴を活かして実施しました。その結果、多くの会員の皆様に有益な情報をお届けできたと確信しています。福利厚生事業については、ボウリング大会やブロック対抗野球大会をはじめ、組織部主催のイベントもすべて順調に開催され、会員相互の情報交換の場を提供できました。また、本会が積極的に行っている社会福祉活動の一環として「献血推進活動」や「大阪マラソン「クリーンUP作戦」」も継続し、府民の皆様に貢献できたと感じています。

10月には府民公開講座を開催し「認知症」をテーマに最新の治療法や予防法について学びました。府民の皆様と共に学びを深めることができました。毎年1月に開催している臨床検査技師会との合同フォーラムでは「膝の痛み、我慢しないで病院に行こう！」というテーマで講演を行い、会員の皆様や一般府民・市民の皆様にわかりやすく情報提供ができました。これにより、生活習慣病の予防と啓発、健康増進に貢献できたと考えています。

2月9日にはグランフロント大阪にて、大阪府主催で令和6年度近畿地域診療放射線技師会学術大会を開催いたしました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は大会が中止（延期）となり、令和3年度はWebのみでの開催となりました。その後もWebと会場を組み合わせたハイブリッ

ド方式で実施してきましたが、コロナも落ち着き、久しぶりに現地のみで開催しました。アクセスが良好であったこともあり、会場には368名の方に足を運んでいただき、成功裏に終了することができました。

令和3年の法令改正に対応する告示研修は、各都道府県で開催するのが令和7年度で最後となります。今年の国家試験合格者は告示研修を修了し、現場に出てきます。大阪府では令和7年度も8回開催する予定ですが、早めの受講をお勧めいたします。また、平成27年の業務拡大に伴う統一講習会は今年度で最後となり、それ以降は開催されませんので、ご注意ください。

令和6年度は、会員の皆様をはじめ、協賛企業、関連団体の皆様のご協力のおかげで多くの事業が継続できました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 庶務報告

(1) 名誉会員

井上 恵 萩澤 悌二 前羽 公平
小川 利政

(2) 役員

① 理事および監事

会 長 藤田 秀樹
副 会 長 檀上 輝、佐原 朋広
監 事 井戸 豊明、西村 健司
常務理事 野口 真（総務部）
國下 皓平（総務部）
山元 浩史（広報部）
久住 謙一（情報部）
奥中 雄策（学術部）
比嘉 敏夫（組織部）
吉田 晃久（福利厚生部）
理 事 武崎 誉仁（総務部）
中平 修司（学術部）
大西 麻衣（学術部）
福田 慎治（組織部：中央）
難波 昭典（組織部：東）
角中 克好（組織部：西）
小西 達郎（組織部：南）
八田 悦子（組織部：北）
阪元 翔太（福利厚生部）
顧 問 牧島 展海

② ブロック幹事

中央ブロック

藤崎 宏 小川 雅寛 中尾 俊春
池田 茂信 和田 純 河野 一洋
中村 好貴 吉村 祐真 濱 健斗

東ブロック

表利 知幸 浦田 大軌 今井 裕志
川合 航大 田川 博基 中林 智
戸田 航生 木下 英一 瀬川 裕一
原 知世

西ブロック

石澤 大介 伊泉 哲太 市村 元気
大津 実穂 小野 剛史 久保 伸平
庄司 忠 多賀井 進 仲宗根 稔
中村 圭一 橋本 和樹 山崎 智規

南ブロック

岡崎 泰三 木村 哲哉 山田 壮大
奥田 響生 清水 康雄 松本 侑司

梅木 拓哉 岩井 正治 福島 弘之
谷 光太郎 福田進太郎 木全 剣后
鍋岡 寛 藤浪 拓也

北ブロック

植西 靖之 浦崎 太樹 大前 陽香
大引久仁博 倉元 伸也 中山 喬資
西村 太一 森田 一 渡部 敬次

(3) 会議開催状況 令和7年3月31日現在

総 会 1回
理 事 会 13回

(4) 受賞及び表彰

日本診療放射線技師会地域功労表彰 受賞（2名）

檀上 輝 野口 真

日本診療放射線技師会永年勤続表彰

30年表彰 受賞（3名）

内田 幸司 簗井 隆一 野口 真

大阪府診療放射線技師会奨励賞表彰

α賞（大阪府診療放射線技師会ポイント75以上）1名

福田 慎治

(5) 常置委員会（○印は委員長）

① 表彰委員会

○吉田 晃久 井上 謙二 植田 克
岡崎 安宏 比嘉 敏夫

② 選挙管理委員会

○霜尾 靖 清水 靖雄 井上 謙二
小島 和也 池田 茂信

(6) 専門部委員会（○印は委員長）

① 総務委員会

○野口 真 武崎 誉仁 相良 健司
泉田 勝也 大西 国允 飯田 凌

② 財務委員会

○國下 皓平 出田 貴裕 夏日 勇人
三和 数正

③ 広報委員会

○山元 浩史 迫田 和志 前田 敏彰
秋山 武 野上 華世 福田進太郎
濱野 美穂 前里美千代 李 侑建

④ 情報委員会

○久住 謙一 清水 涉 佐々木将平
細見 和宏 平野 駿太

⑤ 学術委員会

○奥中 雄策	中平 修司	大西 麻衣
内田 幸司	河合 政和	河野 雄輝
中原 隆太	西尾 優志	西村幸佐久
野原百合子	今井 信也	

⑥ 福利厚生委員会

○吉田 晃久	阪元 翔太	倉元 伸也
和田 純	多賀井 進	木下 英一
松本 侑司	濱野 美穂	

(7) 特別委員会

① 人権委員会

○阪元 翔太	浦田 大軌	角中 克好
庄司 忠	清水 靖雄	中山 喬資
八田 悦子	濱 健斗	牧島 展海

② 定款委員会

○檀上 輝	藤田 秀樹	井戸 豊明
土谷 輝美	土井 武郎	森川 修
野口 真	牧島 展海	

③ 第34回学術大会実行委員会

○奥中 雄策	藤田 秀樹	檀上 輝
佐原 朋広	井戸 豊明	西村 健司
牧島 展海	野口 真	武崎 誉仁
國下 皓平	山元 浩史	久住 謙一
比嘉 敏夫	福田 慎治	難波 昭典
角中 克好	小西 達郎	八田 悦子
中平 修司	大西 麻衣	吉田 晃久
阪元 翔太	相良 健司	大西 国允
飯田 凌	泉田 勝也	出田 貴裕
夏日 勇人	三和 和正	濱野 美穂
李 侑建	清水 渉	佐々木将平
細見 和宏	平野 駿太	内田 幸司
河合 政和	河野 雄輝	中原 隆太
西尾 優志	西村幸佐久	野原百合子
今井 信也		

④ 令和6年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
実行委員会

○奥中 雄策	藤田 秀樹	檀上 輝
佐原 朋広	井戸 豊明	西村 健司
牧島 展海	野口 真	武崎 誉仁
國下 皓平	山元 浩史	久住 謙一
比嘉 敏夫	福田 慎治	難波 昭典
角中 克好	小西 達郎	八田 悦子
中平 修司	大西 麻衣	吉田 晃久
相良 健司	大西 国允	飯田 凌
泉田 勝也	出田 貴裕	夏日 勇人

三和 和正	濱野 美穂	李 侑建
清水 渉	細見 和宏	平野 駿太
吉村 祐真	瀬川 祐一	伊泉 哲太
福田進太郎	森田 一	内田 幸司
河合 政和	河野 雄輝	中原 隆太
西尾 優志	今井 信也	西村幸佐久
野原百合子		

(8) 物故者

令和6年4月1日より令和7年3月31日までに、
ご逝去された会員は次の方です。

会員 田中 寛人 様 (令和6年4月22日ご逝去)

(9) 協賛会員 (50音順)

- ① E I Z O株式会社
- ② G Eヘルスケア・ジャパン株式会社
- ③ G Eヘルスケアファーマ株式会社
- ④ P D Rファーマ株式会社
- ⑤ P S P株式会社
- ⑥ 一般社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会
- ⑦ カイゲンファーマ株式会社
- ⑧ キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- ⑨ 株式会社キュアホープ
- ⑩ 株式会社協栄メディカルサービス
- ⑪ 株式会社クライムメディカルシステムズ
- ⑫ コニカミノルタジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー
- ⑬ 三共医療機株式会社
- ⑭ シーマン株式会社
- ⑮ シーメンスヘルスケア株式会社
- ⑯ 株式会社島津製作所
- ⑰ 島津メディカルシステムズ株式会社
- ⑱ セイコーメディカル株式会社
- ⑲ 株式会社千代田テクノ
- ⑳ 東洋メディック株式会社
- ㉑ 東和放射線防護設備株式会社
- ㉒ 株式会社ドクターネット
- ㉓ 長瀬ランダウア株式会社
- ㉔ 株式会社日本環境調査研究所
- ㉕ 日本メジフィジックス株式会社
- ㉖ 株式会社日本メディカルサービス
- ㉗ 株式会社根本杏林堂
- ㉘ バイエル薬品株式会社
- ㉙ 株式会社フィリップス・ジャパン
- ㊳ 富士製薬工業株式会社
- ㊴ 富士電機株式会社
- ㊵ 富士フィルムヘルスケア株式会社 R6年8月
富士フィルムメディカル(株)と合併の為退会済み
- ㊶ 富士フィルムメディカル株式会社
- ㊷ 伏見製薬株式会社

堀井薬品工業株式会社 R5年度で退会済み
 ㊼ ブラック・ジャパン株式会社 R6年度新入会

(10) 会員の動向

令和6年 4月1日	新・再入会	転 入	転 出	退 会	令和7年 3月31日	増 減
1304	103	18	9	91	1409	105

※令和6年4月1日時点の会員数には4月の退会者（84名）は含まれておりません

	令和6年 4月1日	令和7年 3月31日	増 減
中央ブロック	207	220	13
東ブロック	303	325	22
西ブロック	265	292	27
南ブロック	313	335	22
北ブロック	216	237	21
合 計	1304	1409	105

月	新・再入会者数（名）			退 会 者（名）		
	令和5年度	令和6年度	対前年度増減	令和5年度	令和6年度	対前年度増減
4	10	18	8	61	84	23
5	16	9	－7	0	3	3
6	16	10	－6	0	0	0
7	6	16	10	1	0	－1
8	8	4	－4	0	0	0
9	9	14	5	0	0	0
10	6	16	10	0	0	0
11	7	1	－6	0	4	4
12	8	13	5	0	0	0
1	6	1	－5	0	0	0
2	5	1	－4	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合 計	97	103	6	62	91	29

(11) 会議・委員会報告

総会の開催

5/26

理事会の開催

4/22, 5/8, 5/28, 6/12, 7/10, 8/14, 9/11,
10/9, 11/13, 12/11, 1/8, 2/12, 3/12

総務部関連

- 1) 各専門部、委員会の運営に協力し、会全体の活動の円滑化に努めた。
- 2) 会報の紙面充実に協力した。
- 3) 日本診療放射線技師会との連携を行った。
- 4) ホームページおよびサーバーの管理、運営。
- 5) Web 上にて日本診療放射線技師会データベースシステムを利用し種々の管理、登録、申請等を行った。
- 6) 個人カウントおよび研修会等の申請を行った。
- 7) PC を活用して研修会等の受付を行った。
- 8) 大阪府診療放射線技師会公認事業の個人ポイント管理。
- 9) 会費早期納入及び会費未納者減少にむけ、会報にて会費納入を呼びかけると共に、会費請求を精力的に実施した。

10) 委員会の開催

総務関連委員会

4/6, 4/13, 4/27, 5/14, 5/25, 5/27, 6/28,
7/7, 7/20, 10/5, 10/15, 10/23, 11/7,
11/9, 12/29, 1/10, 1/12, 2/6, 3/28

広報部関連

広報委員会の開催

5/28, 7/23, 9/24, 11/26, 1/28, 3/25

情報部関連

情報委員会の開催

3/21

組織部関連

ブロック長会議の開催

5/24, 6/25, 8/5, 8/29, 10/7, 11/5, 12/24,
1/27, 2/27, 3/26

中央ブロック会議の開催

5/20, 6/24, 8/21, 10/8, 12/16, 2/13

東ブロック会議の開催

4/6, 6/18, 8/20, 10/22, 2/18

西ブロック会議の開催

4/16, 5/17, 7/23, 11/27, 1/31

南ブロック会議の開催

4/8, 7/1, 9/24, 11/22, 2/7

北ブロック会議の開催

4/17, 7/1, 8/28, 10/29, 3/5

学術部関連

学術委員会の開催

6/20, 7/24, 8/28, 9/25, 11/27, 12/18,
2/26, 3/26

合同フォーラム打合せ会議の開催

7/26

福利厚生部関連

福利厚生委員会の開催

8/5

各種委員会関連

表彰委員会の開催

11/7

人権委員会の開催

12/18

定款委員会の開催

1/23

選挙管理委員会の開催

4/19, 5/26

第34回学術大会実行委員会

10/23

令和6年度近畿地域診療放射線技師会学術大会実行委員会

1/22

(12) クラブ報告

囲碁クラブの開催

7/21

○第39回大阪府診療放射線技師会囲碁大会

新型コロナウイルス感染拡大防止等のため活動等を自粛

○月2回の活動及び指導

○会報の『詰碁』を支援

○大阪府診療放射線技師会の囲碁大会の開催及び
運営

囲碁クラブ 名簿

多田 昭雄 小池 弘一 松尾 雅基
土谷 輝美

野球クラブの開催

○9月29日(日)

第54回大阪府診療放射線技師会ブロック対抗野
球大会

優勝 中央ブロック 準優勝 東ブロック

○12月15日(日)

第71回近畿地域診療放射線技師会野球大会
(兵庫県開催) 大阪府 優勝

野球クラブ 名簿

部長 牧島 展海

監督 藤田 秀樹

主将 吉田 晃久

選手	中田 陵賀	谷川 仁志	吉川 剛弘
	木下 英一	辻本 晶州	博多 豊充
	浦崎 太樹	藤井 大樹	今井 裕志
	田中 政宏	大野 兼弥	楠 晃宏
	増井 佑也	藤原 謙介	角中 海斗
	山田 航	上野 寛生	山本 喬介
	安藤 拓馬	船橋 暖人	松浦 健一
	岡山 大	石橋 飛登	

休部中

ゴルフクラブ

テニスクラブ

3. 事業報告

【公益目的事業】

事業番号	事業の内容
公 1	府民への放射線医療に関する知識の普及啓発を行う事業

【事業の趣旨】

大阪府においては、がん患者や結核患者が多く、放射線を用いた検査や治療を経験する府民が、今後益々増加することが見込まれる。

本事業は、府民に放射線診療、検査内容、医療被ばくなどの情報を公開することにより、府民に安心して検査を受けてもらい、疾病予防を目的としたがん検診、健康診断の受診率を上げることによって、府民の疾病予防や健康保持に取り組むものである。令和6年度に行った事業を以下に示す。

【事業の内容】

1. 第41回 みんなのくらしと放射線展

内 容	対面および Web にて次の内容を行う。工作教室、放射線教育関係者向け企画、高校生向け企画、Web サイト企画（放射線研究レポート、プロフェッショナルの声）
対 象	一般府民、教育関係者、高校生
実 施 日	放射線教育関係者意見交換会 8月3日(土) 放射線教育関係者意見交換会、ハイスクールラジエーションクラス 12月15日(日)
参 加 費	対面および Web とも無料
構 成 団 体	大阪公立大学、国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構、 一般財団法人 電子科学研究所、一般財団法人 日本原子力文化振興財団、 一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会、公益社団法人 日本アイソトープ協会、 一般社団法人 日本原子力学会関西支部、関西原子力懇談会との共催
開 催 費 用	各共催団体が負担
法人の役割	放射線は医療関係、工業関係、食品関係、エネルギー関係など多岐にわたるが、当法人は、 みんなのくらしと放射線展において副実行委員長を務め、特に医療関係で利用されている 放射線について、相談コーナーを設けており、府民に一層安心して放射線診療を受けても らえるようになることが役割である。

2. 第40回 せつつ市民健康まつり（摂津市保健センター依頼事業）

対 象	一般府民
内 容	X線写真展示コーナーにおいて肺、胃および乳房の検診症例の供覧 CT、MRI の典型症例の紹介ならびに協賛会員による撮像装置の展示・解説
開 催 日	11月10日(日)
開 催 場 所	摂津市立保健センター
参 加 人 数	X線写真コーナーへの来場者多数
解 説 員	大阪府診療放射線技師会会員 3名 協賛会員 1名
参 加 費	無 料
補 助 金 等	摂津市保健センターからの補助金や委託金はなし

3. 学術大会

第34回 大阪府診療放射線技師会学術大会

テ ー マ	「“Innovation” ～今求められる技術と個性～」
対 象	大阪府診療放射線技師会会員および一般府民

開催日 11月10日(日)
開催場所 アートホテル大阪ベイタワー 4階 ボールルーム
参加費 会員無料・非会員 1,000円、府民公開講座に参加する府民は無料
参加人数 96名(会員 80名、講師 3名、協賛会員 1名、学生 5名、府民 7名)

令和6年度近畿地域診療放射線技師会学術大会

テーマ 「“変革・イノベーション”～新たな一歩を踏み出そう～」
対象 近畿地域診療放射線技師会会員および一般府民
開催日 令和7年2月9日(日)
開催場所 グランフロント大阪タワーC 8階 カンファレンスルーム
参加費 技師会会員・技術学会会員・協賛会員：2,000円、非会員：4,000円、学生：無料
府民公開講座に参加する府民は無料
参加人数 368名

4. 大臨技・大放技合同フォーラム

開催日 令和7年1月18日(土)
開催場所 大阪府医師協同組合会館本館 8階 大ホール
テーマ 「膝の痛み、我慢しないで病院へ行こう！」
対象 大阪府診療放射線技師会会員、大阪府臨床検査技師会会員、一般府民
教育講演 ①「膝の画像検査」
演者：泉大津急性期メディカルセンター 放射線室 谷 光太郎 氏
②「肺がんに関する臨床検査」
演者：医療法人はあとふる 運動器ケア しまだ病院 検査チーム 谷 川 崇 氏
特別講演 「膝の治療について」
演者：公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 整形外科 佐 治 隆 彦 先生
参加費 無 料
参加人数 98名(大臨技 24名、大放技 33名、府民 41名)

5. 令和6年度 府民公開講座

開催日 10月19日(土)
開催場所 大阪国際交流センター 2階小ホール
テーマ 「認知症のことについて」
学術委員解説 「医療被ばくの考え方」
医療法人生長会 ベルランド総合病院 西 尾 優 志 氏
教育講演 「認知症！若者だって他人事じゃない！」
～家族の様子に違和感を感じたらどうすべきか！？～
医療法人杏和会 阪南病院 武 崎 誉 仁 氏
特別講演 「認知症治療の動向と問題点」
大阪国際がんセンター 脳循環内科 主任部長 大 江 洋 史 先生
参加人数 会員：28名 府民：28名 合計：56名

6. ホームページでの放射線医療に関する情報提供

府民に放射線診療、検査内容、医療被ばくなどの情報を公開し、安心して放射線診療を受けてもらうことも法人の重要な役割と考え、セミナー等を開催して直接府民へ放射線医療に関する知識の普及啓発事業を展開するが、それを補完するものとして、ホームページ上で放射線医療に関する情報を提供しなければならないと考えている。

すなわち、ホームページの公開・運営事業を実施することにより放射線医療に関する情報提供を行い、府民の健康福祉の向上に寄与することを目的としている。以下に令和6年度の実績を示す。

(内 容)

ホームページの公開・運営事業放射線診療に関する身近な問題の説明、診療放射線技師の役割等について、当法人ホームページで明らかにし、府民に対し放射線医療に関して情報発信を行った。

○ホームページの内容

1. 府民の方へ

放射線診療について（Q&A 方式にて説明）

- 診療放射線技師の業務は？
- 放射線を利用する検査・治療
- 放射線を使わない検査
- 放射線は人にどんな影響を与えるか？
- 放射線（エックス線）検査をするための原則は？
- 放射線診療の正当化、最適化
- エックス線検査の危険性はどれ位か？
- 小児のエックス線検査は害がありませんか？
- 妊娠中にエックス線検査を受けましたが…… 等

2. 診療放射線技師の役割

3. 放射線検査の説明

4. お問い合わせ窓口

5. 府民公開講座案内

6. 研修会の内容報告

7. 学術の報告

対 象 一般府民

更新頻度 随 時

事業番号	事業の内容
公 2	放射線診療の研修を行う事業

【事業の趣旨】

本事業は、診療放射線技師の放射線診療技術のレベル向上及び職業倫理の高揚を支援するために、放射線診療研修を開催するものである。

このセミナーで得た知識、放射線診療の技術を医療の現場に還元することで、府民の健康福祉の向上、活性化を図るものである。

【事業の内容】

■学 術 部

明日から役立つセミナー（第1回）

テ ー マ 「頭部 MRI の撮像と臨床について～基本ルーチンから救急撮像の実際について～」

開 催 日 7 月 3 日(水)

開 催 場 所 Web 開催

講 師 医療法人橘会 東住吉森本病院 阪 口 康 志 氏

参加者数 51名

明日から役立つセミナー（第2回）

テ ー マ 「CT 検査の基礎から応～STAT 画像報告を添えて～」

開 催 日 10月2日(水)

開 催 場 所 Web 開催

講 師 近畿大学病院 中央放射線部 河 野 雄 輝 氏

参加者数 59名

明日から役立つセミナー（第3回）

テ ー マ 「一次照合に必要な IGRT の基本的な知識」

開 催 日 11月14日(木)

開 催 場 所 Web 開催

講 師 京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科 講師 霜 村 康 平 氏

参加者数 20名

明日から役立つセミナー（第4回）

テ ー マ 「変わりゆく脊椎の X 線撮影」

開 催 日 令和 7 年 1 月 21 日(木)

開 催 場 所 Web 開催

講 師 滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 客員教授 安 藤 英 次 氏

参加者数 46名

明日から役立つセミナー（第5回）

テ ー マ 「マンモグラフィポジショニング ここ、見てください！」

開 催 日 令和 7 年 1 月 30 日(木)

開 催 場 所 Web 開催

講 師 竹田乳腺クリニック 東 純 子 氏

参加者数 48名

■組 織 部

組織部研修会（南）

開 催 日 4月27日(土)
 開 催 場 所 Web 及び大阪府放射線技師会事務所による Hybrid 開催
 情 報 提 供 再現性の高い造影検査に必要なテクニックとインジェクターの役割
 株式会社 根本杏林堂営業部 営業技術 小 林 弘 幸 様
 講 演 1 当施設における健診領域 STAT 報告書作成の取り組み
 府中病院 谷 光太郎 氏
 講 演 2 STAT 画像報告～取り組みの一例とアンケート結果から見えたもの～
 昭和大学病院放射線技術部 片 桐 江美子 氏
 参 加 者 数 54名

組織部研修会（北）

開 催 日 9月28日(土)
 開 催 場 所 NLC 新御堂ビル 6 階 601号室
 情 報 提 供 「シーメンスヘルスケア MRI 最新技術のご紹介」
 シーメンスヘルスケア株式会社 太 田 千香子 様
 講 演 1 「Z 世代への理解を深める新人教育～ CT 業務における指導方法～」
 大阪府済生会吹田病院 則 本 晃 佑 氏
 「新人教育体制と MRI 配属時の教育」
 高槻病院 樋 口 幸 三 氏
 講 演 2 「人は魔法にかかるのか？」
 森ノ宮医療大学 医療技術学部 診療放射線学科 教授 船 橋 正 夫 氏
 参 加 者 数 54名

組織部研修会（東）

開 催 日 12月17日(土)
 開 催 場 所 Web 開催
 講 演 1 (協賛会社)
 「単純 X 線検査において動画撮影を実現
 “Dynamic Digital Radiography” ～ X 線動画画像の臨床応用への期待～」
 コニカミノルタジャパン株式会社 金 山 聖 矢 様
 講 演 2 「MRI の基礎から DLR まで」
 八尾市立病院 木 下 英 一 氏
 講 演 3 「どうしてですか？医療被ばくの説明－医療法施行規則改正から 4 年－」
 大阪ハイテクノロジー専門学校 診療放射線技師学科 小 松 裕 司 氏
 参 加 者 数 54名

組織部研修会（中央）

開 催 日 令和 7 年 2 月 15 日(土)
 開 催 場 所 大阪府男女共同参加・青少年センター（ドーンセンター）
 情 報 提 供 「アドバンスド・モビリティ・ソリューション Medical-ConneX」について
 シーメンスヘルスケア株式会社 西 林 寿 様
 講 演 ① 「災害医療の基礎知識」について
 大阪医療センター 北 川 智 彦 氏
 講 演 ② 「実践的な災害医療対応～診療放射線技師にできること～」
 兵庫県災害医療センター／神戸赤十字病院 中 田 正 明 氏
 合同ディスカッション
 参 加 者 数 38名

組織部研修会（西）

開 催 日 令和 7 年 3 月 15 日（土）

開 催 場 所 難波御堂筋ホール（ホール 9 b）

情 報 提 供 「富士フィルム MRI の最新情報」

富士フィルムメディカル株式会社 成 田 浩 様

講 演 「Routine をひとつ先へ ～臨床 MRI を基礎からもう一度～」

大阪公立大学医学部附属病院 西 村 幸佐久 氏

参 加 者 数 52 名

■人権委員会

手話講座

開 催 日 令和 7 年 2 月 19 日（水）

開 催 場 所 大阪府診療放射線技師会事務所

講 演 「手話初級コース」

愛仁会 高槻病院 小 出 美 緒 氏

参 加 者 数 20 名

接遇講座

開 催 日 令和 7 年 3 月 15 日（土）

開 催 場 所 難波御堂筋ホール（ホール 9 b）

講 演 「電話対応から考える即興力」

一般社団法人 日本地域統合人材育成機構 理事長 重 田 由 美 様

参 加 者 数 40 名

【共益目的事業】

事業番号	事業の内容
他 1	その他の事業（相互扶助等事業）について

【事業の趣旨】

本事業は、放射線診療に係る情報を会員相互で共有し、医療の現場に還元するために、相互扶助等を行うものである。

【事業の内容】

(1) 会員登録に伴い発生する事務・会誌等による情報伝達

年会費の徴収事務、会員管理事務等を行った。また、会誌等で会員に必要な情報伝達を行った。

(2) 定款・規程の見直しを行った。

(3) 表彰事業

定款第4条の事業目的達成に貢献し、本会の発展に寄与した者を表彰する事業である。

表彰の種類は、会長表彰・会長感謝状・永年勤続表彰、奨励表彰であり、選考基準は会長表彰・会長感謝状・永年勤続表彰が表彰規程、奨励表彰が奨励規程による。

また、大阪府等他団体から依頼された表彰事業に対して調査を行い、理事会に答申して候補者の審査及び書類作成の作業などを行った。

この他、在阪の診療放射線技師養成校から推薦を受けた学業成績優秀者の卒業生に対して公益社団法人大阪府診療放射線技師会会長賞を贈呈した。以下に令和6年度の答申状況を示す。

日本診療放射線技師会地域功労表彰	2名
日本診療放射線技師会永年勤続表彰	
30年表彰	1名
大阪府診療放射線技師会永年勤続表彰	
40年表彰	2名
20年表彰	3名
大阪府診療放射線技師会奨励賞	
β賞（大放技ポイント150以上）	1名
α賞（大放技ポイント75以上）	1名

(4) 社会奉仕活動及び関連団体との協調事業

○献血推進活動

日 時	4月28日(日)	10:00～16:00
場 所	HEP FIVE 前（梅田）	
結 果	受付人数 79名	採血数合計 59名（400ml 57名、200ml 2名）
日 時	11月23日(土祝)	10:00～16:00
場 所	HEP FIVE 前	
結 果	受付人数 77名	採血数合計 60名（400ml 60名、200ml 0名）

○清掃活動事業

大阪市環境局の呼びかけで行われている「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に毎年参加している。今年度も「大阪マラソン」が開催され、タイアップして美しい街づくりを進める、大阪市一斉清掃に参加

をして貢献した。以下に活動実績を示す。

開 催 日 令和7年2月1日(土)
開催場所 JR 森ノ宮駅(大阪城公園入口)から大阪府診療放射線技師会事務所周辺
参加者数 19名(子供 2名)

(5) 会員相互扶助事業

会員や関係団体との親睦を深めるための各種行事(野球大会、新年互礼会、体験イベント等)やクラブ活動を行う。また、求人・求職情報をホームページや事務所掲示板を利用して情報提供を行った。以下に活動実績を示す。

○中央ブロック福利厚生事業

ニフレル水族館&太陽の塔探索ツアー

開 催 日 8月24日(土)
開催場所 大阪府吹田市千里万博公園内
参加者数 31名

○第54回 大阪府診療放射線技師会ブロック対抗野球大会

開 催 日 9月29日(日)
開催場所 J:COM サザンスタジアム(泉南市民球場)
参 加 者 76名
優 勝 中央ブロック 準優勝 東ブロック

○西ブロック福利厚生事業

キリンビール神戸工場とめんたいパークの見学

開 催 日 10月27日(日)
開催場所 キリンビール神戸工場とめんたいパーク(兵庫県神戸市北区赤松台2-1-1)
参加人数 21名

○ボウリング大会

開 催 日 11月16日(土)
開催場所 心斎橋サンボウル
参 加 者 30名(見学1名)
優 勝 濱野 美穂氏 準優勝 山元 浩史氏 3 位 難波 昭典氏

○北ブロック福利厚生事業

チキンラーメン作り体験

開 催 日 11月30日(土)
開催場所 カップヌードルミュージアム大阪池田
参加者数 26名

○第71回 近畿地域診療放射線技師会野球大会(開催担当:兵庫県)

開 催 日 12月15日(日)
開催場所 兵庫県 浜甲子園運動公園 B、C グランド
参 加 者 24名
優 勝 大阪府 準優勝 兵庫県 3 位 京都府
4 位 奈良県 5 位 滋賀県 6 位 和歌山県

○新年互礼会

開 催 日 令和7年1月11日(土)
 開催場所 アートホテル大阪ベイタワー 4階ボールルーム
 参 加 者 77名(来賓 21名、協賛会員 18名、名誉会員 2名、会員 36名)

○東ブロック福利厚生事業

Fishing land 久宝寺緑地にてマス釣り
 開 催 日 令和7年3月2日(日)
 開催場所 Fishing land 久宝寺緑地 (〒581-0077 大阪府八尾市西久宝寺323)
 参加人数 32名

○第39回 大阪府診療放射線技師会囲碁大会

新型コロナウイルス感染拡大防止等のため開催中止

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

開 催 日 6月9日(日)
 開催場所 大阪府済生会中津病院 西棟12階会議室
 修了者数 53名

講義内容

エチケット・マナー	多根クリニック	檀 上 輝 氏
医療コミュニケーション	八尾市立病院	難 波 昭 典 氏
感染対策	社会医療法人東和会 第一東和会病院	濱 野 美 穂 氏
医療安全	医真会八尾総合病院	西 村 健 司 氏
被ばく低減	社会医療法人 生長会 ベルピアノ病院	岩 井 正 治 氏
気管支解剖	大阪はびきの医療センター	川 合 航 大 氏
入会促進	大阪府診療放射線技師会 会長	藤 田 秀 樹 氏

第2号議案 令和6年度 決算報告

令和6年度

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

財 務 諸 表

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金			
現 金	50,000	50,000	—
普通預金	7,353,908	4,310,639	3,043,269
定期預金	1,062,620	1,062,620	—
郵便振替貯金	1,548,570	6,722,700	△ 5,174,130
未収入金	1,360,000	1,090,000	270,000
流動資産合計	11,375,098	13,235,959	△ 1,860,861
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産	—	—	—
基本財産合計	—	—	—
(2) 特 定 資 産	—	—	—
特定資産合計	—	—	—
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	7	7	—
その他固定資産合計	7	7	—
固定資産合計	7	7	—
資 産 合 計	11,375,105	13,235,966	△ 1,860,861
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
前 受 金	—	—	—
流動負債合計	—	—	—
2. 固 定 負 債			
固定負債合計	—	—	—
負 債 合 計	—	—	—
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	—	—	—
指定正味財産合計	—	—	—
(うち基本財産への充当額)	(—)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)
2. 一般正味財産	11,375,105	13,235,966	△ 1,860,861
(うち基本財産への充当額)	(—)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)
正味財産合計	11,375,105	13,235,966	△ 1,860,861
負債及び正味財産合計	11,375,105	13,235,966	△ 1,860,861

貸借対照表内訳表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金					
現金	—	—	50,000	—	50,000
普通預金	—	—	7,353,908	—	7,353,908
定期預金	—	—	1,062,620	—	1,062,620
郵便振替貯金	—	—	1,548,570	—	1,548,570
未収入金	—	—	1,360,000	—	1,360,000
流動資産合計	—	—	11,375,098	—	11,375,098
2. 固定資産					
(1) 基本財産	—	—	—	—	—
基本財産合計	—	—	—	—	—
(2) 特定資産	—	—	—	—	—
特定資産合計	—	—	—	—	—
(3) その他固定資産					
什器備品	3	—	4	—	7
その他固定資産合計	3	—	4	—	7
固定資産合計	3	—	4	—	7
資産合計	3	—	4	—	7
II 負債の部					
1. 流動負債					
流動負債合計	—	—	—	—	—
2. 固定負債	—	—	—	—	—
固定負債合計	—	—	—	—	—
負債合計	—	—	—	—	—
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	—	—	—	—	—
指定正味財産合計	—	—	—	—	—
(うち基本財産への充当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
2. 一般正味財産	3	—	11,375,102	—	11,375,105
(うち基本財産への充当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
正味財産合計	3	—	11,375,102	—	11,375,105
負債及び正味財産合計	3	—	11,375,102	—	11,375,105

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
受 取 会 費			
正会員会費収益	14,087,000	13,972,600	114,400
協賛会費収益	1,200,000	1,200,000	—
事 業 収 益			
学術大会参加費収益	—	282,000	△ 282,000
学術大会協賛金収益	530,000	490,000	40,000
75周年記念事業収益	—	1,021,000	△ 1,021,000
研修事業参加費収益	—	11,500	△ 11,500
受取補助金等			
日放技受取助成金	2,341,036	629,256	1,711,780
雑 収 益			
日放技受託収益	225,800	222,800	3,000
雑 収 益	1,845	68	1,777
経常収益計	18,385,681	17,829,224	556,457
(2) 経 常 費 用			
事 業 費			
給 料 手 当	1,319,109	1,282,434	36,675
福利厚生行事費	872,234	165,208	707,026
旅費交通費	1,120,710	862,450	258,260
通信運搬費	1,781,922	1,207,348	574,574
減価償却費	—	13,422	△ 13,422
消 耗 品 費	725,056	499,265	225,791
印刷製本費	3,511,240	1,701,654	1,809,586
会 議 費	727,509	394,253	333,256
光 熱 水 費	186,145	168,856	17,289
賃 借 料	4,737,767	6,049,913	△ 1,312,146
保 守 料	50,455	134,565	△ 84,110
保 険 料	115,912	45,004	70,908
諸 謝 金	647,415	1,661,834	△ 1,014,419
記 念 品 費	130,000	444,374	△ 314,374
支払負担金	366,468	362,622	3,846
会費徴収不能額	126,000	174,000	△ 48,000
雑 費	127,119	214,030	△ 86,911

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管 理 費			
給料手当	329,777	320,609	9,168
会 議 費	40,926	78,324	△ 37,398
総 会 費	545,643	455,898	89,745
理 事 会 費	323,054	349,843	△ 26,789
旅費交通費	115,000	97,609	17,391
通信運搬費	150,139	73,813	76,326
消 耗 品 費	133,049	33,599	99,450
印刷製本費	343,859	481,030	△ 137,171
光 熱 水 費	79,777	72,367	7,410
賃 借 料	831,600	831,600	—
保 守 料	21,623	57,671	△ 36,048
保 険 料	39,324	18,242	21,082
諸 謝 金	400,000	400,000	—
交 際 費	236,000	313,076	△ 77,076
会費徴収不能額	84,000	116,000	△ 32,000
雑 費	27,710	27,545	165
経常費用計	20,246,542	19,108,458	1,138,084
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,860,861	△ 1,279,234	△ 581,627
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 1,860,861	△ 1,279,234	△ 581,627
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
経常外費用計	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 1,860,861	△ 1,279,234	△ 581,627
一般正味財産期首残高	13,235,966	14,515,200	△ 1,279,234
一般正味財産期末残高	11,375,105	13,235,966	△ 1,860,861
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	—	—	—
指定正味財産期首残高	—	—	—
指定正味財産期末残高	—	—	—
III 正味財産期末残高	11,375,105	13,235,966	△ 1,860,861

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引 控 除	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	共 通	小 計			
	知識の普及 啓 発 事 業	研修事業			相互扶助					
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経 常 収 益										
受 取 会 費	0	0	7,643,500	7,643,500	1,528,700	0	1,528,700	6,114,800	0	15,287,000
正会員会費収益	0	0	7,043,500	7,043,500	1,408,700	0	1,408,700	5,634,800	0	14,087,000
協賛会費収益	0	0	600,000	600,000	120,000	0	120,000	480,000	0	1,200,000
事 業 収 益	530,000	0	0	530,000	0	0	0	0	0	530,000
学術大会協賛金収益	530,000	0	0	530,000	0	0	0	0	0	530,000
受取補助金	0	2,341,036	0	2,341,036	0	0	0	0	0	2,341,036
日放技受取助成金	0	2,341,036	0	2,341,036	0	0	0	0	0	2,341,036
雑 収 益	0	0	0	0	225,800	0	225,800	1,845	0	227,645
日放技受託収益	0	0	0	0	225,800	0	225,800	0	0	225,800
雑 収 益	0	0	0	0	0	0	0	1,845	0	1,845
経常収益計	530,000	2,341,036	7,643,500	10,514,536	1,754,500	0	1,754,500	6,116,645	0	18,385,681
(2) 経 常 費 用										
事 業 費	5,615,882	5,106,829	105,000	10,827,711	5,717,350	0	5,717,350		0	16,545,061
給 料 手 当	577,110	247,333		824,443	494,666		494,666			1,319,109
福利厚生行事費				0	872,234		872,234			872,234
旅費交交通費	266,100	763,610		1,029,710	91,000		91,000			1,120,710
通信運搬費	444,053	269,879		713,932	1,067,990		1,067,990			1,781,922
消 耗 品 費	326,126	354,580		680,706	44,350		44,350			725,056
印刷製本費	570,042	433,000		1,003,042	2,508,198		2,508,198			3,511,240
会 議 費	247,936	474,348		722,284	5,225		5,225			727,509
光 熱 水 費	111,687	47,866		159,553	26,592		26,592			186,145
賃 借 料	2,544,020	1,916,547		4,460,567	277,200		277,200			4,737,767
保 守 料	30,273	12,974		43,247	7,208		7,208			50,455
保 険 料	55,054	23,594		78,648	37,264		37,264			115,912
諸 謝 金	172,623	474,792		647,415			0			647,415
記 念 品 費		0		0	130,000		130,000			130,000
支払負担金	232,375	0		232,375	134,093		134,093			366,468
会費徴収不能額	0	0	105,000	105,000	21,000		21,000			126,000
雑 費	38,483	88,306		126,789	330		330			127,119

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引 控 除	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	共 通	小 計			
管 理 費								3,701,481	0	3,701,481
給 料 手 当								329,777		329,777
会 議 費								40,926		40,926
総 会 費								545,643		545,643
理 事 会 費								323,054		323,054
旅費交通費								115,000		115,000
通信運搬費								150,139		150,139
消 耗 品 費								133,049		133,049
印刷製本費								343,859		343,859
光 熱 水 費								79,777		79,777
賃 借 料								831,600		831,600
保 守 料								21,623		21,623
保 險 料								39,324		39,324
諸 謝 金								400,000		400,000
交 際 費								236,000		236,000
会費徴収不能額								84,000		84,000
雑 費								27,710		27,710
経常費用計	5,615,882	5,106,829	105,000	10,827,711	5,717,350	0	5,717,350	3,701,481	0	20,246,542
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,085,882	△2,765,793	7,538,500	△313,175	△3,962,850	0	△3,962,850	2,415,164	0	△1,860,861
当期経常増減額	△5,085,882	△2,765,793	7,538,500	△313,175	△3,962,850	0	△3,962,850	2,415,164	0	△1,860,861
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0			0			0
当期一般正味財産増減額	△5,085,882	△2,765,793	7,538,500	△313,175	△3,962,850	0	△3,962,850	2,415,164	0	△1,860,861
一般正味財産期首残高				0			0			13,235,966
一般正味財産期末残高				0			0		0	11,375,105
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0			0			0
指定正味財産期末残高				0			0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,375,105

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産は計上していない。

2. 引当金の明細

引当金は計上していない。

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場 所 ・ 物 量 等		使 用 目 的 等		金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管		運転資金		50,000	
		普通預金		運転資金			
		みずほ銀行天満橋支店				3,706,296	
		みずほ銀行天満橋支店				529,018	
		みずほ銀行天満橋支店				3,118,594	
		定期預金		運転資金			
		みずほ銀行天満橋支店				1,062,620	
		郵貯銀行清水谷町支店		運転資金		1,548,570	
		未収入金		未収正会員会費		1,360,000	
流動資産合計						11,375,098	
(固定資産) その他固定 資産	什器備品	ミーティングテーブル		管理運営業務で使用		1	
		事務机・椅子一式		管理運営業務で使用		1	
		パソコン・プリンター		管理運営業務で使用		2	
		パソコン		公益目的保有財産であり公1公2 事業で使用している		2	
		鍵付きロッカー		公益目的保有財産であり公1公2 事業で使用している		1	
固定資産合計						7	
資 産 合 計						11,375,105	
(流動負債)						—	
流動負債合計						—	
負 債 合 計						—	
正味財産合計						11,375,105	
負債及び正味財産合計						11,375,105	

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …………… 定額法

(2) 引当金の計上基準

該当事項なし

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当事項なし

4. 担保に供している資産

該当事項なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
什器備品	1,514,333	1,514,326	7
合 計	1,514,333	1,514,326	7

6. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
助成金 日放技公益事業 助成金	公益社団法人 日本診療放射線技師会	—	2,341,036	2,341,036	—	—
合 計		—	2,341,036	2,341,036	—	—

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

10. 重要な後発事象

該当事項なし

第3号議案 令和6年度 監査報告

独立監査人の監査報告書

令和 7年 4月16日

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会
会長 藤田 秀樹 殿

川島 潔士 

大阪府中央区内淡路町1丁目2-9
中谷ビル501号

＜財務諸表監査＞

私は、公益社団法人大阪府診療放射線技師会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第12事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインⅠ－5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財

務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。



＜財産目録に対する意見＞

私は、公益社団法人大阪府診療放射線技師会の令和7年3月31日現在の第12事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人大阪府診療放射線技師会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



監 査 報 告 書

令和 7 年 4 月 21 日

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会
代表理事 藤田 秀樹 殿

監事 井 戸 豊 明 

監事 西 村 健 司 

私たち監事は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) その他

- 一 事業決算報告書の表紙の参加者の欄には、参加者数を記載して下さい。
- 二 事業決算報告書の添付書類に不備がありましたので、注意して下さい。
- 三 議事録の予定欄に未記入がありましたので、未定の場合は「未定」と記入して下さい。

第4号議案

令和7年度事業計画

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

会長 藤田 秀 樹

1. 総 括

ようやく新型コロナウイルス感染症も一段落し、コロナ前と同様に事業を実施できるようになりました。今年度は、会員数の増加に向けて、さらに有益な学術事業を展開し、会員相互のつながりを強化するために、多くの方々にご参加いただける福利厚生事業を開催していきたいと考えています。今年も1年間、皆様のご意見に耳を傾けながら、会の運営を進めてまいりますので、どうぞご期待ください。

昨年、我が国の人口は過去最大の減少率を記録したとのことです。今後、さらに人口減少が進み、業務量が減少することが予想されます。一方で、養成校の増加により、当面は技師数が増加しています。この状況を打開するために、最初に取り組むべきことは業務の拡大です。令和3年の法令改正の主な目的は医師の働き方改革であり、タスク・シフト／シェアを推進することですが、私たち診療放射線技師にとっても大きな意味を持つ改正です。しかし、法令上業務が拡大しても、実際にその業務を現場で行わなければ、本当の意味で業務範囲が拡大したとは言えません。他のメディカルスタッフもタスク・シフト／シェアを進めています。その中で、われわれもできるだけ早く業務範囲を広げておくことが重要です。

そのためにも、技師会として業務拡大の重要性を啓発していく必要があります。令和7年度は、告示研修を8回、統一講習会を1回開催する予定です。告示研修は必須の講習会であり、次回、診療放射線技師法が改正された場合、告示研修修了者のみが受講できると推測されます。また、今年の国家試験合格者からは告示研修を受講した診療放射線技師が排出されることになります。まだアップデートが済んでいない方は、早めに受講することをお勧めします。

令和6年4月1日より、われわれ診療放射線技師もワクチン接種を行うことができるようになりました（新型インフルエンザ等対策特別措置法第三十一条の三）。令和7年度から実技研修が開始され、大放技では11月の学術大会にて開催予定です。ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

府民の皆様にもご参加いただいている府民公開講座や「みんなのくらしと放射線展」などは継続し、一般の方々の健康増進や放射線に関する知識の普及・啓発に努めてまいります。また、放射線管理の充実と医療被ばく線量の低減事業に加え、職業被ばくの管理も職能団体として重要な役割を果たしていますので、引き続き取り組んでまいります。

本会では、日本診療放射線技師会はもちろん、関西広域連合や大阪府地域医療推進協議会など関連団

体、さらには大阪府・市との連携を強化しながら、府民に対して安全確保や公衆衛生の向上を目的とした様々な事業を展開してまいります。また、本会は一昨年、原子力災害医療協力機関に登録されました。万が一、原子力災害が発生した場合には、避難住民等への被ばくや汚染に対する検査に協力できるよう準備を進めております。

事業計画を遂行することにより、診療放射線学および診療放射線技術の専門性を高め、医療の質の向上に貢献し、府民の保健福祉に寄与することができると考えています。また、それが職業の地位向上にもつながり、職能団体としての役割を果たすこととなります。令和7年度も役員一同一致団結して、府民および国民の皆様信頼される職業となるよう、努めてまいります。また、会員の皆様にも満足いただけるよう、会の運営に取り組んでいきます。皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 令和7年度事業計画(案)

府民への放射線医療に関する知識の普及啓発を行う事業（公1）

1. みんなのくらしと放射線展

- （内 容） 他団体（後述の構成団体）と共に、府民に対して、放射線関連の情報公開と体験学習を開催している。体験学習等を通して、府民に放射線への理解と関心をもってもらい、健康促進や疾病予防を啓発できるような事業内容としている。
- また、大人だけでなく子どもと一緒に参加できるようなイベントを開催している。
- 各担当スタッフは、当法人会員である。
- 以下にその主な内容を示す。
- 放射線診療に関するパネルの展示
診断に使用している写真等を展示して、がんの患部等がどのように写っているのか観察してもらう。質問があればスタッフが説明、助言を行う。
 - 放射線を使った医療画像のしくみ
放射線から、どのようにすれば写真ができて、診療に役立つのかを説明することによって、なぜ放射線が必要なのかを理解してもらう。
 - 検査の内容紹介
放射線検査にはさまざまなものがある。そこで、放射線検査を安心して受診できるように、各検査の内容及び必要性や医療被ばくについて説明する。
 - 放射線の軌跡を見る実験
通常では目に見えない放射線の軌跡を見ることによって、放射線に対しての知識を学び理解してもらう。
 - 透視画像の実験
安心して医療を受けてもらうため、さまざまな物質がどのように画像として映るのか実験を行い、放射線について理解してもらう。
 - 最新放射線医療機器の紹介
最新鋭の放射線医療機器を紹介することで、より医療に関心を持ってもらう。
- （対象・人数） 一般府民・学生のべ2,000名以上（令和6年度実績）
- （募集方法） ポスター、当法人ホームページ、会報、チラシ、新聞
- （場 所） 大阪科学技術館（大阪市西区）または Web にて開催
- （実施期間） 例年8月に2日間開催、Web の場合は8月から11月頃に公開
- （参加費用） 無 料
- （構成団体） 大阪公立大学、国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構、一般財団法人 電子科学研究所、一般財団法人 日本原子力文化振興財団、一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会、公益社団法人 日本アイソトープ協会、一般社団法人 日本原子力学会関西支部、関西原子力懇談会との共催
- （開催費用） 各共催団体が負担
- （法人の役割） 放射線の使用は、医療関係、工業関係、食品関係、エネルギー関係など多岐にわたるが、当法人は特に医療関係で利用されている放射線について、府民により一層安心して放射線診療を受けてもらうことで健康の維持とさらなる保健・福祉の向上を図ることが役割である。

2. 健康まつり（摂津市保健センター依頼事業）

- （内 容） 市町村等が開催する健康啓発イベントにおいて、放射線診療に関するパネル展示等を行い、府民の健康に対する意識、放射線医療への理解と関心を高める。
- （対 象） 一般府民
- （募集方法） 摂津市広報での告知、当法人ホームページ、会報
- （場 所） 摂津市立保健センター
- （実施期間） 毎年11月頃

(参加費用)	無 料
(依頼元)	摂津市保健センター
(依頼内容)	健康に関する催し物及び展示コーナーの設営
(補助金等)	摂津市保健センターからの補助金や委託金はなし
(法人の役割)	当該事業は、摂津市からの依頼に応じて実施しているが、具体的な展示内容（例えば、検診で見つかった良悪性の写真展示や検診時の被ばく線量や超音波検査の展示）は、毎年当法人が企画した上で、「せっつ市民健康まつり実行委員会」に当法人も参加し、議論検討される。 実行委員会で決定された内容は、当法人が自主的に運営実施している。
(実施実績)	現在は摂津市保健センター主催の「せっつ健康まつり」において展示や相談等を行っている。
(出務報酬)	スタッフとして参加する会員に交通費は支給しているが、会員は無償の役務提供を行っている。

3. 大阪府診療放射線技師会学術大会

(内 容)	府民の健康・福祉、放射線医療への理解と関心を高めるため、その時々の医療トレンドを踏まえた府民を対象とした特別講演やシンポジウムを開催するとともに、医療被ばく相談コーナーを設置して府民からの相談に応じる。また、医療関係者や学生等、放射線医療についてより詳細な知識を求めている方等を対象に新しい知見や最新・先端の技術等に関する会員の研究発表を開催する。 ●会員研究発表 専門職・学生を対象に会員の日頃の研究結果を発表する。 ●ランチョンセミナー 学生、当法人会員を対象に医療機器の最新情報等について講演を行う。 ●特別講演 一般府民、学生、当法人会員を対象に放射線に関する講演会を開催する。 ●シンポジウム 一般府民、学生、当法人会員を対象に放射線に関するシンポジウムを開催する。
(対象・人数)	一般府民、学生、当法人会員、非会員・約150名
(募集方法)	当法人ホームページ、会誌、ポスターなど
(場 所)	アートホテル大阪ベイタワーなど
(実施期間)	毎年秋に1日開催
(参加費)	一般府民および学生：無料、会員：事前登録、当日参加とも2,000円、非会員：4,000円

4. 府民公開講座（大阪府診療放射線技師会・大阪府臨床検査技師会合同フォーラムなど）

(内 容)	現状の医療情勢を踏まえた教育講座、特別講演を開催することにより府民の健康福祉の向上や疾病予防の啓発を行うために開催している。特に、がん検診や健康診断の重要性を呼びかけている。
(対象・人数)	一般府民、学生、当法人会員・約100名から150名程度
(募集方法)	当法人ホームページ、会誌、チラシ、ポスター
(場 所)	大阪府医師協同組合本部（大阪市中央区）など
(実施回数)	年3回から4回程度開催
(参加費)	無 料
(実施主体)	府民公開講座は当法人が主催する。合同フォーラムについては大阪府臨床検査技師会との合同で開催する。
(法人の役割)	がん検診、健康診断の中でも、放射線画像診断の領域を担い、府民の健康福祉の向上や疾病予防の啓発を行う。
(開催のための財源)	当法人が主催する府民公開講座は当法人の費用として支出する。 分担金及び費用支出は会員の会費で賄っている。 合同フォーラムについては大阪府臨床検査技師会と折半している。

5. ホームページでの放射線医療に関する情報提供

府民に放射線診療、検査内容、医療被ばくなどの情報を公開し、安心して放射線診療を受けてもらうことも法人の重要な役割と考えている。上記のように、セミナーを開催して直接府民へ放射線医療に関する知識の普及啓発事業を展開するが、それを補完するものとして、ホームページ上で放射線医療に関する情報を広く提供しなければならないと考えている。すなわち、ホームページの公開・運営事業を実施することにより放射線医療に関する情報提供を行い、府民の健康福祉の向上に寄与することを目的とする。

(内 容) ホームページの公開・運営事業

放射線診療に関する身近な問題の説明、診療放射線技師の役割等について、当法人ホームページで明らかにし、府民に対して放射線医療に関して情報発信を行う。

○ホームページの内容

1) 府民の方へ

放射線診療について (Q&A 方式にて説明)

- 診療放射線技師の業務は？
- 放射線を利用する検査・治療
- 放射線を使わない検査
- 放射線は人にどんな影響を与えるか？
- 放射線（エックス線）検査をするための原則は？
- 放射線診療の正当化、最適化
- エックス線検査の危険性はどれ位か？
- 放射能と放射線の違いは？
- 放射線は体に残りますか？
- 放射線被ばくの制限はありますか？
- 小児のエックス線検査は害がありませんか？
- 妊娠中にエックス線検査を受けましたが……
- 放射線を被ばくすると子供が出来にくくなるといいますが……
- 放射線には遺伝にも影響するといいますが……
- 放射線の単位を知りたいのですが……

2) 診療放射線技師の役割

3) 放射線検査の説明

4) お問い合わせ窓口

5) 府民公開講座案内

6) 研修会の内容報告

7) 学術の報告

(対 象) 一般府民

(更新頻度) 随 時

放射線診療の研修を行う事業（公２）

1. 装置・機器関連セミナー

- （内 容） 1）機器管理
放射線診療や診療放射線技師が携わる検査（MRI、超音波など）を受ける府民の安心と安全を担保する為の機器管理に関わるセミナーである。
- 2）医用画像情報
業務の効率化を図り、診療に役立つ画像を提供する為に知っておくべき知識について解説する。
- （対象・人数） 診療放射線技師及び他職種医療従事者
（看護師、臨床工学技士、臨床検査技師など） 約50名
- （募集方法） 当法人ホームページ及び会報
- （実施回数） 年2回程度
- （場 所） 大阪府診療放射線技師会事務所など
- （参加費） 会員、府民、学生：無料 非会員：1,000円

2. 画像検査セミナー

府民の安心と安全を担保する為に、先進医療への対応及び精度の向上と維持を行い、患者容態、検査の目的を把握して検査（撮影）に臨むことが最も重要であり、解剖・検査（撮影）・読影について、基礎から臨床まで網羅的に解説する。

- （内 容） 1）一般撮影
2）上部消化管
3）血管撮影
4）CT
5）MRI
6）超音波
7）マンモグラフィ
- （対象者・人数） 診療放射線技師及び他職種医療従事者約50名
- （募集方法） 当法人ホームページ及び会報
- （実施回数） 年6回程度
- （場 所） 大阪府診療放射線技師会事務所など
- （参加費） 会員、府民、学生：無料 非会員：1,000円

3. 人権関連セミナー

- （内 容） 府民により良い医療環境を提供する為には、放射線診療の技術はもちろん、コミュニケーションを大切にする姿勢や医療従事者の細やかな気配りも重要である。府民が安心して検査・治療に臨めるよう、医療現場における接遇などについて、実技を踏まえて解説する。
- （対象・人数） 診療放射線技師、他職種医療技術者約50名
- （募集方法） 当法人ホームページ及び会報
- （場 所） 大阪府診療放射線技師会事務所
- （参加費） 無 料

4. 原子力防災研修

原子力災害医療協力機関として、原子力災害に備え、平時に行う原子力防災訓練や原子力防災研修会に参加する。また、大阪府や拠点病院が行う原子力災害対策に協力し、住民の被ばくや汚染に対する検査を行う。

会員の相互扶助事業（他1）

1. 会員名簿の作成

2. 会員登録に伴い発生する事務・会誌等による情報伝達

年会費の徴収事務、会員管理事務等を行う。また、会誌等で会員に必要な情報伝達を行う。

3. 表彰事業

定款第4条の事業目的達成に貢献し、当法人の発展に寄与した者を表彰する事業である。

表彰の種類は、会長表彰・会長感謝状・永年勤続表彰であり、選考基準は表彰規程による。

また、大阪府等他団体から依頼された表彰事業に対して、推薦する作業などを行っている。

その他、在阪の診療放射線技師養成校から推薦を受けた学業成績優秀者の卒業生に対して、公益社団法人大阪府診療放射線技師会会長賞を贈呈する。

4. 社会奉仕活動及び関連団体との協調事業

1) 献血推進活動

献血推進活動は輸血用血液確保の支援を目的とする。既知の如く、我が国の輸血用血液の確保は、献血という善意で成り立っている。

一方、当法人は医療組織を構成する法人として、救命の基本である血液確保は重要な課題であると認識し、大阪府赤十字血液センターの要請に呼応し、十分な輸血用血液の確保のために活動している。この社会の要請を、法人として、輸血用血液が特に不足する時期に献血を推進する活動を行うことにより、輸血用血液を実質的に確保し、社会の要請に応えようとするものである。

2) 清掃活動事業

大阪市環境局の呼びかけで行われている「大阪市一斉清掃“クリーンUP”作戦」に毎年参加し、タイアップして美しい街づくりに貢献する。

実施については当法人のホームページ上で公開している。

1) 2)とも会員の会費ですべて賄い、無償の役務提供である。

5. 会員相互扶助事業

会員やその家族および関係団体との親睦を深めるための各種行事（野球大会、新年互礼会、ハイキング等）やクラブ活動を行う。また、求人・求職情報を会報や事務所掲示板を利用して情報提供を行う。

6. 入会促進事業

新規会員の入会促進及び人材育成を図るため、新卒および卒後数年の未入会者を対象にフレッシュャーズセミナーや、入会促進の一環として指導者的役割の人材を対象としたマネジメント研修会等を開催する。

第5号議案 令和7年度 予算

収 支 予 算 書 (案)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入の部				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入			0	
基本財産運用収入合計			0	
② 会費収入				現会員 1350名
正会員会費収入	14,800,000	14,950,000	-150,000	新入会 80名
協賛会費収入	1,360,000	1,400,000	-40,000	過年度 50名
会費収入合計	16,160,000	16,350,000	-190,000	協 賛 34社
③ 事業収入				
公益事業収入				
(1) 知識の普及啓発事業				
学術大会事業収入				
参加費収入	100,000	350,000	-250,000	
協賛金収入	600,000	350,000	250,000	
学術大会事業収入合計	700,000	700,000	0	
(2) 技術向上の為の研修事業				
研修事業収入				
参加費収入	50,000	50,000	0	
研修事業収入合計	50,000	50,000	0	
(3) 情報提供を行う事業				
広報事業収入				
広告費収入			0	
広報事業収入合計			0	
公益事業収入合計	-	750,000	-750,000	
共益事業収入				
(1) 会員相互扶助事業				
周年記念祝賀会事業収入			0	
参加費収入	-	-		
協賛金収入	-	-		
事業収入合計	-	-	0	
共益事業収入合計	-	-	0	
④ 雑 収 入				
日放技委託料収入	230,000	230,000	0	
雑 収 入	5,000	5,000	0	
雑収入合計	235,000	235,000	0	
⑤ 日放技受取補助金収入（注2）				
近畿学術大会預り金	-	1,500,000	-1,500,000	
参加費収入	-	600,000	-600,000	
協賛金収入	-	600,000	-600,000	
その他事業預り金	440,000	440,000	0	
日放技事業預り金合計	440,000	3,140,000	-2,700,000	
事業活動収入合計	17,585,000	20,475,000	-2,890,000	
事業活動支出の部				
1. 公益事業費支出				
① 知識の普及啓発事業支出				
(1) みんなのくらしと放射線展事業費支出				

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
旅費交通費支出	80,000	80,000	0	
消耗品費支出				
支払負担金支出	150,000	150,000	0	
みんなのくらしと放射線展事業費支出合計	230,000	230,000	0	
(2) せつつ健康まつり事業費支出				
賃借料支出	100,000	100,000	0	
旅費交通費支出	40,000	40,000	0	
雑 支 出	20,000	20,000	0	
せつつ健康まつり事業費支出合計	160,000	160,000	0	
(3) 学術大会・公開講座事業費支出				
① 学術大会事業支出				
賃借料支出	1,300,000	900,000	400,000	
会議費支出	500,000	500,000	0	
旅費交通費支出	200,000	200,000	0	
通信運搬費支出	300,000	250,000	50,000	
印刷製本費支出	500,000	500,000	0	
諸謝金支出	130,000	130,000	0	
消耗品費支出	200,000	200,000	0	
雑 支 出	70,000	70,000	0	
学術大会事業支出合計	3,200,000	2,750,000	450,000	
② 公開講座事業支出				
賃借料支出	400,000	400,000	0	
会議費支出	20,000	20,000	0	
旅費交通費支出	100,000	100,000	0	
通信運搬費支出	100,000	130,000	－30,000	
印刷製本費支出	150,000	170,000	－20,000	
諸謝金支出	100,000	100,000	0	
雑 支 出	50,000	50,000	0	
公開講座事業支出合計	920,000	970,000	－50,000	
③ 周年記念事業支出				
賃借料支出	－	－	0	
会議費支出	－	－	0	
旅費交通費支出	－	－	0	
通信運搬費支出	－	－	0	
印刷製本費支出	－	－	0	
諸謝金支出	－	－	0	
記念品費支出	－	－	0	
消耗品費支出	－	－	0	
雑 支 出	－	－	0	
周年事業支出合計	－	－	0	
学術大会・公開講座事業費支出合計	4,120,000	3,720,000	400,000	
(4) 合同フォーラム事業費支出				
会議費支出	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出	50,000	50,000	0	
支払負担金支出	120,000	120,000	0	
雑 支 出	30,000	30,000	0	
合同フォーラム事業費支出合計	210,000	210,000	0	
(5) 情報提供を行う事業費支出				
会議費支出	20,000	20,000	0	
旅費交通費支出	110,000	110,000	0	
諸謝金支出			0	
賃借料支出	250,000	250,000	0	
情報提供を行う事業費支出合計	380,000	380,000	0	
知識の普及啓発事業費支出合計	5,100,000	4,700,000	400,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
② 技術向上の為の研修事業費支出				
(1) セミナー研修会事業費支出				
賃借料支出	200,000	150,000	50,000	
諸謝金支出	350,000	250,000	100,000	
会議費支出	50,000	40,000	10,000	
旅費交通費支出	300,000	350,000	-50,000	
通信運搬費支出	100,000	100,000	0	
印刷製本費支出	100,000	200,000	-100,000	
消耗品費支出	250,000	150,000	100,000	
雑 支 出	50,000	50,000	0	
セミナー研修会事業費支出合計	1,400,000	1,290,000	110,000	
(2) ブロック研修会事業費支出				
賃借料支出	350,000	400,000	-50,000	
諸謝金支出	250,000	250,000	0	
会議費支出	50,000	50,000	0	
旅費交通費支出	400,000	500,000	-100,000	
通信運搬費支出	80,000	80,000	0	
消耗品費支出	100,000	130,000	-30,000	
雑 支 出	30,000	30,000	0	
ブロック研修会事業費支出合計	1,260,000	1,440,000	-180,000	
(3) 近畿学術大会事業費支出				
旅費交通費支出	130,000	100,000	30,000	
雑 支 出	50,000	20,000	30,000	
近畿学術大会事業費支出合計	180,000	120,000	60,000	
技術向上の為の研修事業費支出合計	2,840,000	2,850,000	-10,000	
④ 日放技受取補助金支出（注２）				
(1) 近畿学術大会事業費支出				
賃借料支出	—	1,000,000	-1,000,000	
諸謝金支出	—	250,000	-250,000	
会議費支出	—	450,000	-450,000	
旅費交通費支出	—	300,000	-300,000	
通信運搬費支出	—	100,000	-100,000	
消耗品費支出	—	100,000	-100,000	
印刷製本費支出	—	400,000	-400,000	
雑 支 出	—	100,000	-100,000	
(2) 委託事業費支出				
賃借料支出	150,000	150,000	0	
諸謝金支出	50,000	50,000	0	
会議費支出	100,000	100,000	0	
旅費交通費支出	40,000	40,000	0	
通信運搬費支出	80,000	80,000	0	
消耗品費支出	10,000	10,000	0	
雑 支 出	10,000	10,000	0	
委託事業費支出合計	440,000	3,140,000		
日放技事業預り金支出合計	440,000	3,140,000	-2,700,000	
公益事業費支出合計	8,380,000	10,690,000	-2,310,000	
2. 共益事業費支出				
(1) 社会奉仕活動事業費支出				
旅費交通費支出	60,000	60,000	0	
支払助成金支出			0	
雑 支 出			0	
社会奉仕活動事業費支出合計	60,000	60,000	0	
(2) 会員に情報提供を行う事業費支出				
会議費支出	2,000	2,000	0	
旅費交通費支出	15,000	15,000	0	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
通信運搬費支出	900,000	800,000	100,000	
印刷製本費支出	1,200,000	1,200,000	0	
会員に情報提供を行う事業費支出合計	2,117,000	2,017,000	100,000	
(3) 会員表彰事業費支出				
会議費支出	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出	50,000	50,000	0	
印刷製本費支出	25,000	25,000	0	
記念品費支出	70,000	70,000	0	
会員表彰事業費支出合計	155,000	155,000	0	
(4) 会員相互扶助事業費支出				
① 福利厚生事業費支出				
会議費支出	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出	55,000	55,000	0	
福利厚生行事費支出	1,000,000	1,000,000	0	
保険料支出	40,000	40,000	0	
支払助成金支出	200,000	150,000	50,000	
福利厚生事業費支出合計	1,305,000	1,255,000	50,000	
② 周年記念祝賀会支出			0	
賃借料支出	—	—	0	
印刷製本費支出	—	—	0	
諸謝金支出	—	—	0	
雑 支 出	—	—	0	
周年祝賀会支出合計	—	—	0	
会員相互扶助事業費支出合計	1,305,000	1,255,000	50,000	
(5) 入会促進事業費支出				
会議費支出	3,000	3,000	0	
旅費交通費支出	10,000	10,000	0	
雑 支 出			0	
入会促進事業費支出合計	13,000	13,000	0	
共益事業費支出合計	3,650,000	3,500,000	150,000	
3. 管理費支出				
給料手当支出	1,750,000	1,700,000	50,000	
総会費支出	600,000	550,000	50,000	
理事会費支出	420,000	420,000	0	
その他会議費支出	100,000	120,000	－20,000	
旅費交通費支出	120,000	120,000	0	
通信運搬費支出	450,000	450,000	0	
什器備品費支出	350,000	350,000	0	
消耗品費支出	300,000	400,000	－100,000	
修繕費支出	10,000	10,000	0	
印刷製本費支出	600,000	600,000	0	
光熱水料費支出	390,000	390,000	0	
家賃地代支出	2,800,000	2,800,000	0	
保守リース料支出	200,000	250,000	－50,000	
保険料支出	140,000	130,000	10,000	
諸謝金支出	400,000	400,000	0	
交際費支出	400,000	350,000	50,000	
慶弔見舞費支出	50,000	50,000	0	
図書購読費支出	20,000	20,000	0	
雑 支 出	30,000	30,000	0	
管理費支出合計	9,130,000	9,140,000	－10,000	
事業活動支出合計	21,160,000	23,330,000	－2,170,000	
事業活動収支差額	－3,575,000	－2,855,000	－720,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出				
積立金取崩支出			0	
積立金当期積立額			0	
投資活動支出計			0	
投資活動収支差額	—	—	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計			0	
財務活動収支差額			0	
Ⅳ 予備費支出				
当期収支差額	－3,575,000	－2,855,000	－720,000	
前期繰越収支差額	10,470,966	13,325,966	－2,855,000	
次期繰越収支差額	6,895,966	10,470,966	－3,575,000	

会費収入の使用用途として 公益費 50% 共益費 10% 管理費 40%

注1)：減価償却費は含まれていない。

注2)：預り金収入、支出を記載している。

収支予算の事業別区分経理の内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引 控 除	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	共 通	小 計			
	知識の普及 啓 発 事 業	研修事業			相互扶助					
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経 常 収 益										
受 取 会 費	0	0	8,080,000	8,080,000	1,616,000	0	1,616,000	6,464,000	0	16,160,000
正会員会費収入			7,400,000	7,400,000	1,480,000		1,480,000	5,920,000		14,800,000
協賛会費収入			680,000	680,000	136,000		136,000	544,000		1,360,000
事 業 収 益	700,000	50,000	0	750,000	0	0	0	0	0	750,000
学術大会参加費収入	100,000			100,000			0			100,000
学術大会協賛金収入	600,000			600,000			0			600,000
研修事業参加費収入		50,000		50,000			0			50,000
受取補助金等	0	440,000	0	440,000	0	0	0	0	0	440,000
日放技受取助成金		440,000		440,000			0			440,000
雑 収 益	0	0	0	0	230,000	0	230,000	5,000	0	235,000
日放技受託料収入				0	230,000		230,000			230,000
雑 収 入				0			0	5,000		5,000
経常収益計	700,000	490,000	8,080,000	9,270,000	1,846,000	0	1,846,000	6,469,000	0	17,585,000
(2) 経常費用										
事 業 費	7,657,100	4,375,900	0	12,033,000	4,638,000	0	4,638,000		0	16,671,000
給 料 手 当	612,500	262,500		875,000	525,000		525,000			1,400,000
旅費交通費	580,000	870,000		1,450,000	190,000		190,000			1,640,000
通信運搬費	589,000	341,000		930,000	945,000		945,000			1,875,000
什器備品費	147,000	63,000		210,000	35,000		35,000			245,000
消 耗 品 費	326,000	414,000		740,000	30,000		30,000			770,000
印刷製本費	650,000	100,000		750,000	1,225,000		1,225,000			1,975,000
会 議 費	550,000	200,000		750,000	25,000		25,000			775,000
光熱水料費	163,800	70,200		234,000	39,000		39,000			273,000
賃 借 料	3,226,000	1,204,000		4,430,000	280,000		280,000			4,710,000
保 守 料	84,000	36,000		120,000	20,000		20,000			140,000
保 険 料	58,800	25,200		84,000	54,000		54,000			138,000
諸 謝 金	230,000	650,000		880,000			0			880,000
記 念 品 費				0	70,000		70,000			70,000
福利厚生行事費				0	1,000,000		1,000,000			1,000,000
支払負担金	270,000			270,000			0			270,000
支払助成金				0	200,000		200,000			200,000
雑 費	170,000	140,000		310,000			0			310,000

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引 控 除	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	共 通	小 計			
管 理 費								4,489,000	0	4,489,000
給 料 手 当								350,000		350,000
会 議 費								100,000		100,000
総 会 費								600,000		600,000
理 事 会 費								420,000		420,000
旅費交通費								120,000		120,000
通信運搬費								135,000		135,000
什器備品費								105,000		105,000
消 耗 品 費								90,000		90,000
修 繕 費								10,000		10,000
印刷製本費								600,000		600,000
光熱水料費								117,000		117,000
賃 借 料								840,000		840,000
保 守 料								60,000		60,000
保 險 料								42,000		42,000
諸 謝 金								400,000		400,000
交 際 費								400,000		400,000
慶 弔 費								50,000		50,000
図 書 費								20,000		20,000
雑 費								30,000		30,000
経常費用計	7,657,100	4,375,900	0	12,033,000	4,638,000	0	4,638,000	4,489,000	0	21,160,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,957,100	△3,885,900	8,080,000	△2,763,000	△2,792,000	0	△2,792,000	1,980,000	0	△3,575,000
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△6,957,100	△3,885,900	8,080,000	△2,763,000	△2,792,000	0	△2,792,000	1,980,000	0	△3,575,000
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0			0			0
当期一般正味財産増減額	△6,957,100	△3,885,900	8,080,000	△2,763,000	△2,792,000	0	△2,792,000	1,980,000	0	△3,575,000
一般正味財産期首残高				0			0			10,380,966
一般正味財産期末残高				0			0		0	6,805,966
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			0	0			0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,805,966

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はない。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資の予定はない。

第6号議案 その他